

循環器内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術前後における冠動脈血流の比較検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇学
担当科等	循環器内科
研究責任者	(職名) 准教授(特任) (氏名) 中野雄介
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	なし
研究の意義・目的	本研究は大動脈弁狭窄症の患者さんにおいて、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)が心臓を栄養する冠動脈にどのような影響を与えるかを調べるものです。大動脈弁狭窄症患者は冠動脈狭窄の有無に関わらず、冠動脈血流量が低下していることが知られています。その原因は、大動脈弁狭窄による大動脈に流れる血流量の低下などが考えられています。冠動脈血流は超音波のドプラ法で評価可能であり、経食道心エコー図検査でも冠動脈近位部の冠動脈血流が観察することができます。大動脈弁狭窄症の治療は、もともと外科的大動脈弁置換術が一般的で唯一の治療法でありましたが、近年はより低侵襲な TAVI が急速に普及しております。TAVI は多くが全身麻酔で行われ、大動脈弁やその周囲の観察、血行動態のモニタリングとして経食道心エコー図が使用されます。術中に使用される経食道心エコー図で、大動脈弁狭窄の状態である TAVI 直前と、狭窄が解除された TAVI 直後の冠動脈血流を評価することができます。本研究の目的は TAVI がいかに冠動脈血流に影響を与えるかを経食道心エコー図を用いて評価し検討するものです。
対象となる患者さん	2020 年 11 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の期間で大動脈弁狭窄症に対して TAVI が行われた 20 歳以上の患者さん
研究の方法	患者情報は当院のカルテ情報をもとに抽出します。それらを用いて TAVI 前後の冠動脈血流がいかに変化するかを検討します。この研究に関して、研究計画や方法などの情報をお知りになりたい場合は、本研究の実施担当者にお申し出ください。ほかの患者さんの個人情報や研究全体の支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究期間	研究実施承認日 ~ 2025 年 12 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報：診療情報、心エコー図など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025 年 3 月 31 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 循環器内科 担当者：(職名) 医員助教 (氏名) 鈴木航 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 23490)